

高齢者「おっと危ない」講習会

直轄事業

実施目的

本県の全死亡事故に占める高齢者の交通死亡事故は約7割を占めており、高齢者の死亡事故を減少させることは本県の大きな課題である。よって、本事業は、県、各市町、県警、民間で協力した上で、より効果の高いシミュレータ等を活用し、高齢者（歩行者、運転者）対象の参加・体験型講習会を実施することにより、参加者及び参加者による地域への還元を実施させることを目的とする。

実施場所

県内21市町

対象者

県内老人クラブ等^{（※1）}

開始年度

令和6年

予算

659千円

実施内容

【高齢者「おっと危ない」講習会】

県、各市町、県警、民間等が協力して開催。

内容については下記のとおり。

- ・運転及び歩行シミュレータを活用した実践的な交通安全教育
- ・サポートカーを体験乗車させ、サポカーの普及、啓発を図る
- ・反射材等の交通安全グッズを配布し、効果を説明
- ・所轄警察署による地区の交通事故情勢について説明
- ・交通事故被害者の手記のパネル展示
- ・交通指導員研修会の実施

【ラジオ放送による交通安全啓発】

高齢者事故が多発傾向にある場合、随時でラジオ放送による周知を実施する。

（※1）県内21市町の老人クラブ等の構成員等が対象。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他